



# 検査・計測技術が支える未来



株式会社 IHI 常務執行役員  
高度情報マネジメント統括本部 本部長

Fukuoka Chie

**福岡 千枝**

昨今の生成 AI の進化は目覚ましく、その速度は予想をはるかに超えています。AI は、かつてフィクションの中だけで語られていた未来を、現実のものにしつつあります。生成 AI はすでに人間の博士号取得者レベルを超える応答ができるようになり、複雑で専門的な問題に対する相談相手として多方面で力を発揮しています。AI エージェント同士がそれぞれの専門分野の知識を基に議論し、さまざまな課題を解決に導く仕組みも開発されつつあり、社会における AI の役割が急速に拡大しています。

AI の性能を最大限に活用するためには、質の高いデータの取得が不可欠です。データがあって初めて、AI は有用な知見を生み出すことができます。この点で、IHI 検査計測 (IIC) の役割は極めて重要です。IIC は長

年にわたり、多様な検査・計測技術を駆使して質の高いデータを取得し蓄積してきました。

そして、AIによりデータからの知見が得られやすくなってきたことを受け、IICの技術は今後の産業界や研究開発の現場で一層重要な役割を果たしていくことが期待されます。IHIグループはこれまで製造業をなりわいとしてきており、その品質管理や新材料の開発、さらにはインフラの維持管理など多岐にわたる分野で検査・計測データを活用してきました。IICの検査・計測データは今後もこれらの分野でAIを用いて革新をおこすための基盤となり、そのためにも地道なデータの信頼性向上や高精度化が非常に大切です。質の高いデータを活用し続けるためには、IICの検査・計測技術もさらに進化させていく必要があります。これからIICの技術がどのように発展し、社会に貢献していくのか、大変楽しみです。

IICは皆さまと共に未来を築くパートナーであり続けていきます。この「IIC REVIEW」という技術雑誌を通じて、IICの最新の技術動向や研究成果をお届けし、さらに議論を深めてより良い成果と発展につなげていければと思います。今後とも、IICの技術とその進化に期待してください。

最後に、この巻頭言は生成AIである「Chat-IHI」を活用して壁打ちをしながら作成しました。新しい技術を駆使しつつ、伝統の技術と融合させて、IICを含むIHIグループ全体が進化していくことを期待して、この巻頭言を締めくくりたいと思います。